

【編集後記】

たくさんの方々のご協力のもとに、本年度も『文学論叢』をお届けすることができました。お忙しい中、お力添えくださいました皆様に心より感謝申し上げます。

論考を拜読する機会に恵まれたとき、亡き師の言葉を思いおこす。「決めつけたらあきませんで。」自分の知見だけで論説を否定しない、理解が及ばないならば議論を尽くせ、「そういうことか、これは面白い」と膝を打ち、互いに笑みを交わせる時が必ず訪れるから、それが研究の醍醐味だと。師弟であれ、同輩であれ、異分野の研究者であれ、他者のみつけた研究の芽は大きく育てよう、大輪の花は素直に愛でよう、研究者としての基本姿勢のひとつを叩き込んでくださった。

自身の研究に没頭して視野が狭くなってはいないか、他者否定を自己肯定の手段としていないか、ときおり顔をあげて周囲を見回し、視点を変えてみることを心掛けたい。そんな時に、多岐にわたる分野の論考が掲載されるこの『文学論叢』がお目に留まれば嬉しく思います。研究の芽や蕾、満開の花との出会いとなれば幸いです。

師の言葉をもうひとつ。「ひとりで面白がってんと、みんなに披露しなさいな。」皆様のご投稿をお待ちしております。

文学論叢第 156 輯 編集委員会

文学論叢 [第 156 輯]

編者 | 愛知大学人文社会学研究所
代表者 伊東利勝
発行所 | 愛知大学人文社会学研究所
〒441-8522 豊橋市町畑町 1-1
irhsa@ml.aichi-u.ac.jp
<http://taweb.aichi-u.ac.jp/irhsa/>
印刷所 | 株式会社 コームラ

平成 31 年 2 月 10 日 印刷

平成 31 年 2 月 20 日 発行

FEBRUARY 2019
Toyohashi, Japan

ISSN 0287-0835

Volume 156

LITERARY SYMPOSIUM

Volume 156

